

# 新たな閃きと挑戦

新たな閃きと挑戦をモットーに本学シンフォニック ウインド アンサンブルが、高昌帥による委嘱作品（世界初演）を含む楽曲たちを奏でます。まだ誰も見たことのないアンサンブルの世界をご堪能ください。



## 井手 詩朗 IDE Shiro（指揮）

1984 年より東京佼成ウインドオーケストラでプロとしてのキャリアをスタートし首席ホルン奏者をつとめ、常任指揮者 F. フェネルの薫陶のもと数々のコンサート、レコーディングをこなす。1988 年に小澤征爾率いる新日本フィルハーモニー交響楽団に移籍し首席ホルン奏者として数々の名指揮者、ソリスト達とのコンサート、レコーディングは記憶に新しい。2015 年 3 月を以って 27 年余り在籍した新日本フィルハーモニー交響楽団を退団後は教育の分野で精力的に活動する。国立音楽大学卒業。1985 年第 2 回日本管打楽器コンクールホルン部門第 3 位、1988 年第 5 回同コンクール第 2 位。1990 年第 1 回 PMF に参加。ヤマハ株式会社より 2015 年に発売開始されたフラッグシップモデル YHR-869D.GD は本人プロデュースで大変好評を博している。現在、国立音楽大学副学長、教授、法人理事。PMF 芸術企画会議、組織委員会理事を務める。



## 田中 靖人 TANAKA Yasuto（指揮）

1988 年国立音楽大学卒業。学内にて矢田部賞受賞。第 1 回日本管打楽器コンクール第 2 位、第 4 回日本管打楽器コンクール第 1 位を受賞。1990 年東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以来国内外でリサイタルなど幅広い活動を行っている。ソリストとしてオーケストラとの共演も多数。ソロ・アルバム「管楽器ソロ曲集・サクソフォーン」、「ラブソディ」、「サクソフォビア」、「ガーシェンカクテル」、「モリコーネパラダイス」をリリース。サクソフォン四重奏団 トルヴェール・クワルテットのメンバーとして活躍し、これまでに 10 枚を超えるアルバムをリリース。2001 年文化庁芸術祭レコード部門 "大賞" を受賞。(財) 地域創造主催の「公共ホール活性化事業」のアーティストとして、リサイタル、アウトリーチも意欲的に行っている。1989 年から 2023 年まで東京佼成ウインド オーケストラ サクソフォン奏者。2011 年からはコンサート マスターを務めた。国立音楽大学教授。



## 高 昌帥 Chang Su Koh（作曲）

大阪音楽大学作曲専攻卒業後、スイス・バーゼル音楽アカデミーに留学。これまでに作曲を田中邦彦、R. ケルターボーンの各氏に、指揮を J. マイヤー氏にそれぞれ師事。第 1 回コダーイ記念国際作曲コンクール佳作、第 12 回朝日作曲賞受賞（2002 年吹奏楽コンクール課題曲『ラメント』）、平成 20 年度・24 年度 JBA「下谷奨励賞」受賞、第 19 回吹奏楽アカデミー賞作・編曲部門受賞等。現在、大阪音楽大学教授。日本現代音楽協会、関西現代音楽交流協会、21 世紀の吹奏楽「響宴」各会員。プロ・アマ問わず多数の委嘱を受け、管弦楽・吹奏楽・室内楽など様々な編成の作品を作曲する傍ら、現代音楽の指揮、アマチュアオーケストラや市民バンドの指導にも携わる。代表作に、大阪音楽大学創立 110 周年記念委嘱作品：独唱・合唱・オーケストラのための「師に倣う〜永井幸次讃歌」、大阪音楽大学創立 100 周年記念委嘱作品「吹奏楽のための協奏曲」、全日本吹奏楽連盟 2018 年度委嘱課題曲「吹奏楽のためのワルツ」等。

## 【国立音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブルとは】

国立音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブルは、かつての本学夜間部（二部）の学生により組織された吹奏楽団で、大阪泰久、大橋幸夫の両氏の指導のもと、昼間部の「ブラスオルケスター」と共に精力的に活動していた。

第 1 回定期演奏会は 1972 年 12 月 4 日に杉並公会堂で開催され、第 2 回目以降は「邦人作品の夕べ」と題して、大栗裕、藤田玄播、兼田敏、保科洋、名取吾朗などといった、現在吹奏楽のレパートリーとして定着している邦人作曲家によるオリジナル作品や委嘱作品をいち早く取り上げ、邦人作品の発掘・開発・普及と、日本の吹奏楽の発展に大きく寄与してきた。なかでも創立時から約 30 年の長きに亘り指導と指揮に携わった大阪泰久（本学名誉教授）の功績はあまりにも大きい。

その後 79 年に夜間部は廃止されたが、「シンフォニック ウインド アンサンブル」の名称は残り、現在まで活動を続けている。

指揮はこれまでに大阪・大橋両氏のほかに淀彰、三浦徹、新田ユリの各氏が歴任し、過去には世界的に有名なイーストマン・ウインド・アンサンブルの指揮者マーク・スキヤッタディも度々客演指揮者として登場、またソリストとしてはトロンボーンの名手ジャック・モージェをはじめ、千葉馨（ホルン）、松居直美（オルガン）、石田泰尚（ヴァイオリン）を招いたほか、本学教員や卒業生とも多数共演。現在は井手詩朗（本学教授）の指揮によってその伝統が受け継がれ、毎年作品を委嘱し、日本の吹奏楽の発展とさらなる向上に情熱を注いでいる。昨年度より新たに田中靖人（本学教授）も指揮に加わり、新たな可能性を切り開く。

## 【創立 100 周年募金受付中です】

一定額以上ご寄付いただいた方は演奏会にご招待します。音楽文化人育成と音楽芸術振興を通じた社会への貢献に向けて皆様のご支援をお願いします。

<https://go.kifu.fm/kunitachi/>

国立音楽大学経理課（寄付金係）

TEL：042-535-9528



## 【本演奏会に際して】

- 本演奏会は、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVD など各媒体で公開されることをあらかじめご了承ください。
- 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
- やむを得ない事情での公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル、変更、払い戻し等はできません。
- やむを得ない事情により、曲目・出演者・会場・日程等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 会場内での写真撮影、録音、携帯電話の使用は固くお断りします。
- ご来場前に本学公式 Web サイトをご確認の上、お越しください。